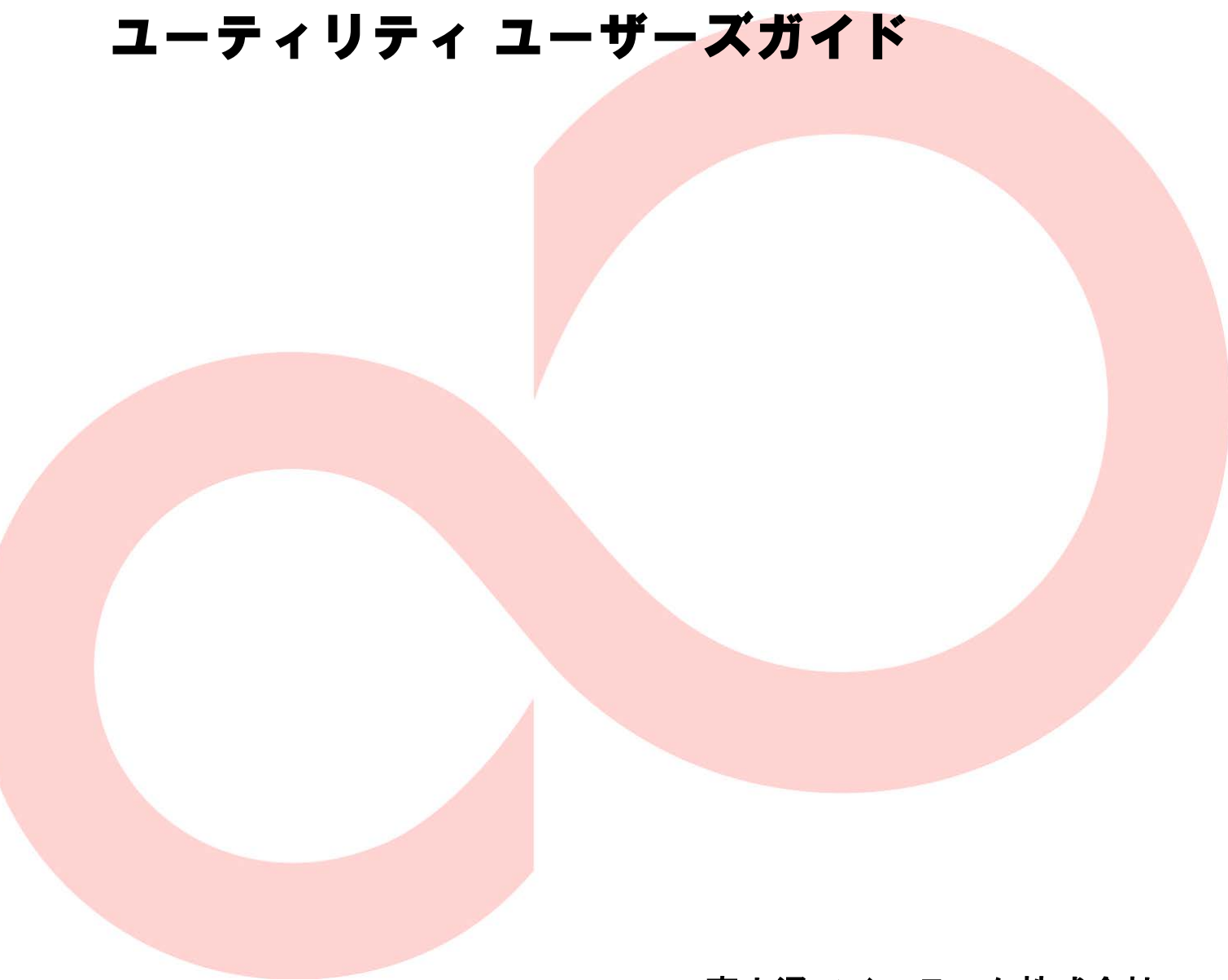


FP-32L / FP-32L (BT)

ユーティリティ ユーザーズガイド



富士通アイソテック株式会社

Revision 2.0.1.0

目 次

1	はじめに.....	2
1.1	概要.....	2
1.2	関連ドキュメント.....	2
1.3	動作環境.....	3
1.4	本書での説明表記について.....	3
1.5	商標.....	3
2	インストール・アンインストール.....	4
3	操作方法.....	5
3.1	ユーティリティの起動と終了.....	5
3.2	プリンタのセットアップ.....	7
3.2.1	プリンタのセットアップを変更する.....	7
3.2.2	プリンタのセットアップ情報を印刷する.....	8
3.2.3	セットアップの内容を初期値に戻す.....	9
3.2.4	セットアップの内容をファイルに保存し読み込む.....	10
3.3	ロゴの設定.....	12
3.3.1	ロゴをプリンタに登録する.....	12
3.3.2	プリンタに登録したロゴを削除する.....	14
3.3.3	Windows ドライバを使用してロゴを印刷する.....	15
3.4	用紙レイアウト設定.....	16
3.4.1	用紙レイアウトの設定を自動で行う.....	16
3.4.2	用紙レイアウトの設定を手動で行う.....	17
3.4.3	カット位置補正/手切り位置補正方法.....	19
4	改訂履歴.....	20

1 はじめに

1.1 概要

このドキュメントは、FP-32L ユーティリティ FITL32(以降、FITL32) の使用方法について記述しています。

1.2 関連ドキュメント

下表に関連するドキュメントを示しますので、適宜ご覧ください。

ドキュメント名	参照フォルダ/ファイル名
インストールガイド	¥Install_Guide_J.pdf
プリンタ取扱説明書	¥Manual¥FP-32L¥INDEX.pdf
Windows ドライバユーザーズガイド	¥Manual¥WindowsDriver_Guide_J.pdf

1.3 動作環境

本プリンタドライバは、以下の環境でご利用になれます。

➤ プリンタの設定

- ・ エラー復帰 : 自動

＜ガイド＞ プリンタ出荷時の初期値は“自動”です。

通常はそのままご利用になれますが、OPOS ドライバを使用した際は、[エラー復帰]設定が“コマンド”になるため設定変更が必要です。

設定方法については、プリンタの取扱説明書を参照してください。

➤ インタフェース

- ・ シリアルインタフェース
- ・ セントロニクス社準拠パラレルインタフェース
- ・ USB インタフェース
- ・ LAN インタフェース
- ・ Bluetooth インタフェース

➤ 実行条件

本ユーティリティを実行するには、管理者権限が必要です。

実行する際は、Administrators のアカウントでログオンしてください。

1.4 本書での説明表記について

本書では、FP-32L プリンタを例に挙げて記載しています。

その他プリンタをご使用の場合は、読み換えてください。

OS により操作手順(説明内容)が異なる場合がありますので、「インストールガイド」の「2.1 本書での説明表記について」を参照しご使用の OS に該当する表現に読み換えてください。

1.5 商標

本書内に記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

2 インストール・アンインストール

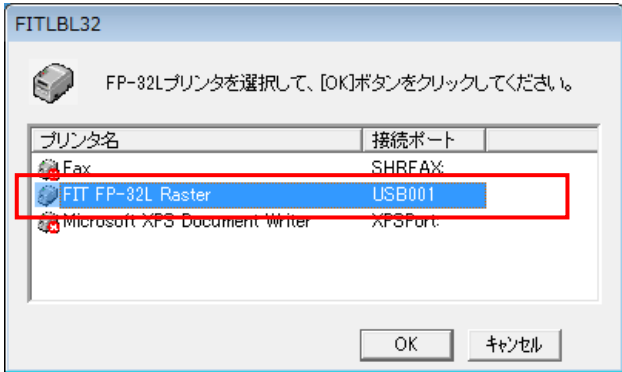
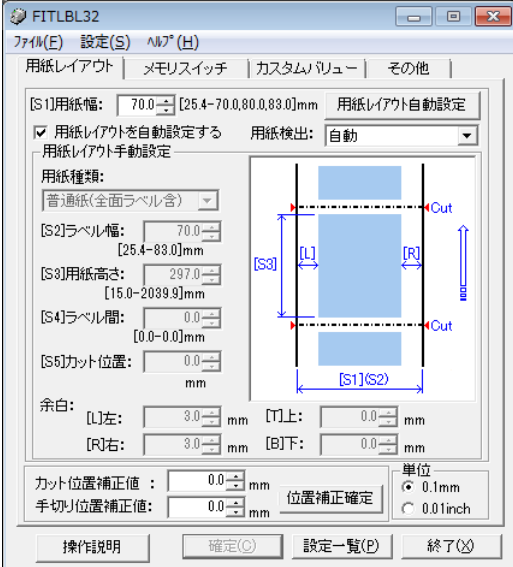
インストールとアンインストール方法については、「インストールガイド」の
「インストール」
「アンインストール」
をご覧ください。

3 操作方法

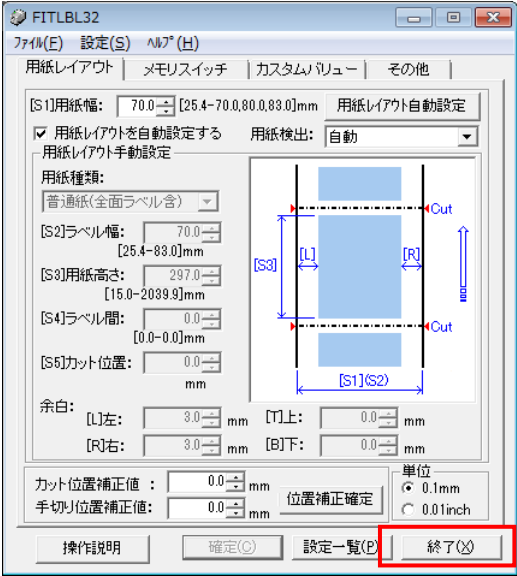
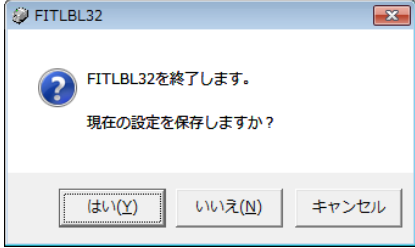
3.1 ユーティリティの起動と終了

インストールが完了しましたら、ユーティリティを起動します。以下に本ユーティリティの起動と終了方法について記載します。

<操作方法 - 起動>

<p>1</p>	<p>【Windows 10 の場合】 すべてのアプリ(※)から [FIT FP Series Printer] → [FP-32L Utility] または [FP-32L (BT) Utility] をクリックします。</p> <p>【Windows 8 / Windows 8.1 の場合】 アプリ一覧から(※) [FP-32L Utility] または [FP-32L (BT) Utility] をクリックします。</p> <p>【Windows 7 以前の場合】 Windows スタートメニューのすべてのプログラム(※)から [FIT FP Series Printer] → [Utility] → [FP-32L Utility] または [FP-32L (BT) Utility] をクリックします。</p> <p>※各 OS における画面の表示方法については、「インストールガイド」の「本書での説明表記について」を参照ください。</p>	
<p>2</p>		<p>プリンタを選択し、[OK] をクリックします。</p> <p>※ ご使用いただけないプリンタには、警告マークが付加されて表示されます。警告マークの付いていないプリンタを選択してください。</p> <p>※ LAN インターフェースで使用するときは、PR-PortManager で作成した LPR ポートでデフォルトのポート名 (xxx.xxx.xxx.xxx:lp(注1)) としてください。</p>
<p>3</p>		<p>本ユーティリティのメイン画面が表示されます。</p>

<操作方法 - 終了>

<p>1</p>		<p>メイン画面の[終了]をクリックします。</p>
<p>2</p>		<p>現在の設定内容を保存するかどうかのメッセージボックスが表示されますので、 保存する場合は、[はい]、 保存しない場合は、[いいえ]、 終了せずメイン画面に戻る場合は、 [キャンセル]をクリックします。</p> <p><ガイド> 現在の設定を保存した場合、次回起動した際の初期画面に保存した設定値が表示されます。</p>

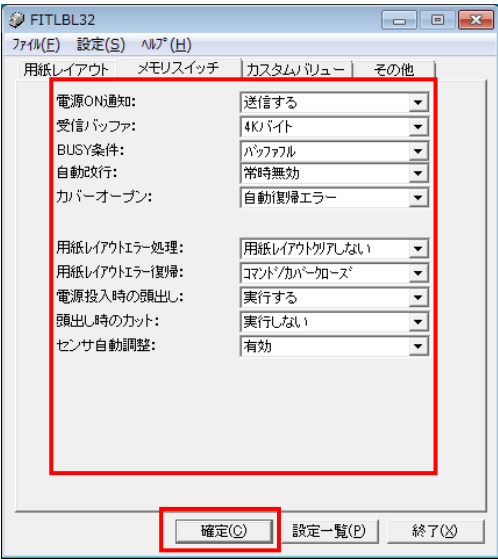

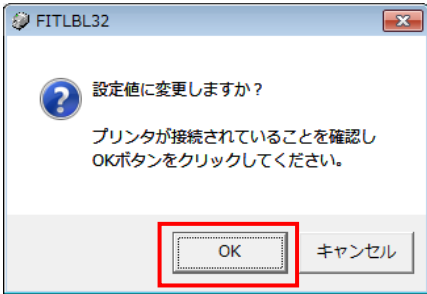
3.2 プリンタのセットアップ

ここでは、[プリンタのセットアップ] の操作について説明します。

3.2.1 プリンタのセットアップを変更する

画面の設定内容をプリンタに送信し、プリンタのセットアップ内容を更新します。

<操作方法>

1		<p>画面の[メモリスイッチ][カスタマイズバリュー][その他]タブ内の設定を変更します。</p> <p><ガイド> [メモリスイッチ][カスタマイズバリュー][その他]タブには、選択されたプリンタに対応したセットアップ項目が表示されています。</p> <p>セットアップ項目の説明については、「ユーザーズマニュアル」を参照ください。</p>
2		<p>[確定]をクリックします。</p>
3		<p>確認メッセージが表示されますので、画面の内容を確認し[OK]をクリックします。</p> <p>↓</p> <p>プリンタに設定内容が送信されます。設定が完了するとプリンタがイニシャル動作をします。</p>

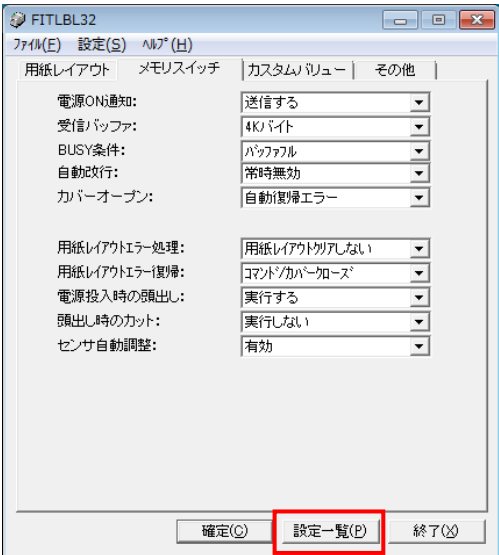
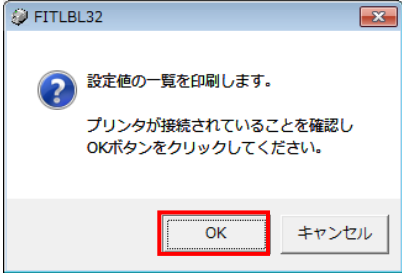
<ガイド>

[シリアル番号]を変更した場合、プリンタから Windows へ通知されるシリアル番号が変わります。これにより、Windows の USB ポートも変更されるため、接続ポートの更新が必要となります。

3.2.2 プリンタのセットアップ情報を印刷する

プリンタに設定されてあるセットアップ情報の一覧を印刷します。

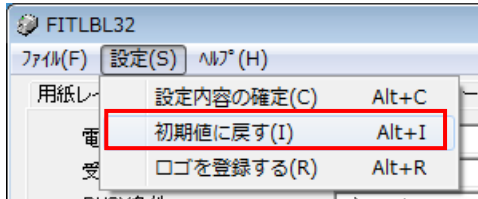
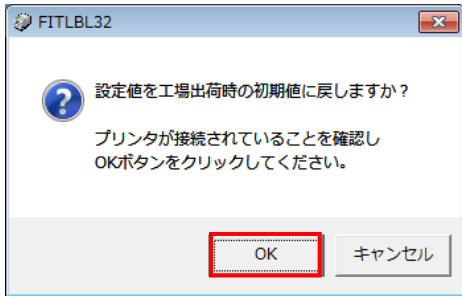
<操作方法>

1		<p>[設定一覧印刷]をクリックします。</p>
2		<p>確認メッセージが表示されますので、画面の内容を確認し[OK]をクリックします。 ↓ プリンタからセットアップ一覧が印刷されます。</p>

3.2.3 セットアップの内容を初期値に戻す

画面のメモリスイッチ、カスタマイズバリュー、その他タブ内の設定を工場出荷時の初期値に戻します。

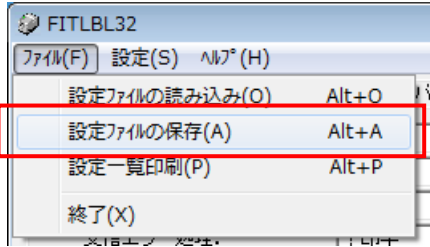
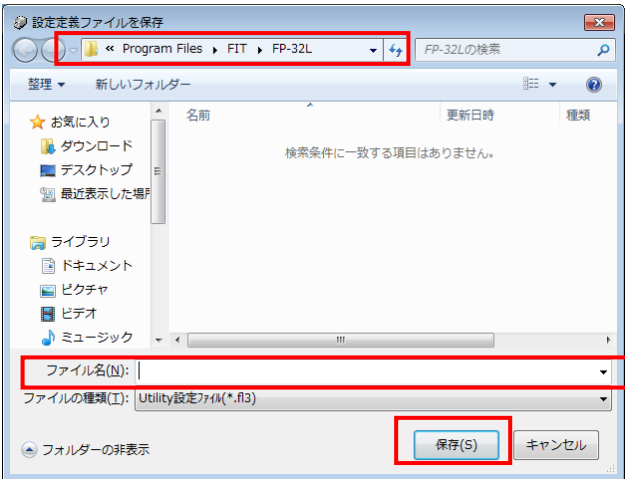
〈操作方法〉

<p>1</p>		<p>[設定] - [初期値に戻す]をクリックします。</p>
<p>2</p>		<p>確認メッセージが表示されますので、画面の内容を確認し [OK] をクリックします。 ↓ 画面の [メモリスイッチ] [カスタマイズバリュー] [その他] タブ内の設定が工場出荷時の初期値に戻ります。</p>

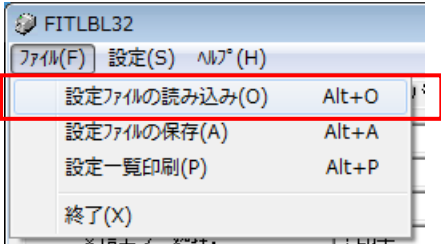
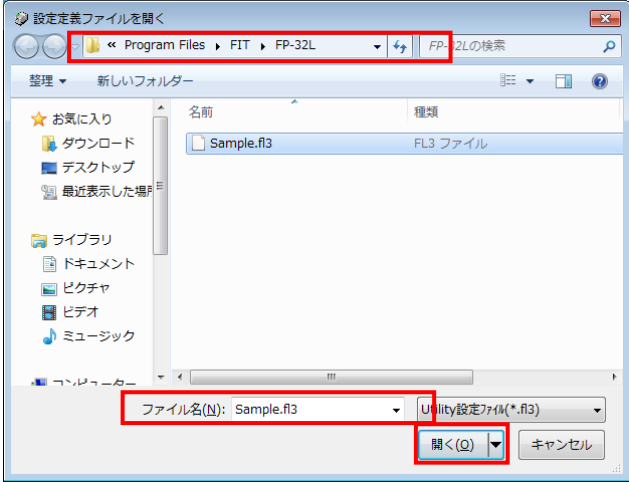
3.2.4 セットアップの内容をファイルに保存し読み込む

画面に表示されている設定内容をファイルに保存し、読み込むことができます。
これを利用することにより、一度設定した内容を別のパソコンから使用することや、別のプリンタへ設定することが可能です。

<操作方法 - ファイルに保存する>

1		[設定ファイルの保存]をクリックします。
2		[保存する場所]の指定と、 [ファイル名]に保存するファイル名を入力し、[保存]をクリックします。 ↓ 指定した場所にファイルが保存されます。

＜操作方法 -保存したファイルを読み込む＞

1		<p>[ファイル読み込み]をクリックします。</p>
2		<p>[ファイルの場所]と[ファイル名]を指定し、[開く]をクリックします。</p> <p>↓</p> <p>画面の[メモリスイッチ][カスタマイズバリュウ][その他]タブに読込んだファイルの設定内容が反映されます。</p> <p>＜ガイド＞ 読込むファイルの種類はプリンタ装置ごとに異なります。別のモデルで保存したファイルの読み込みはできませんのでモデルごとに保存するようにしてください。</p>

3.3 ロゴの設定

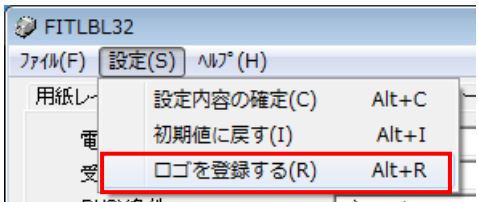

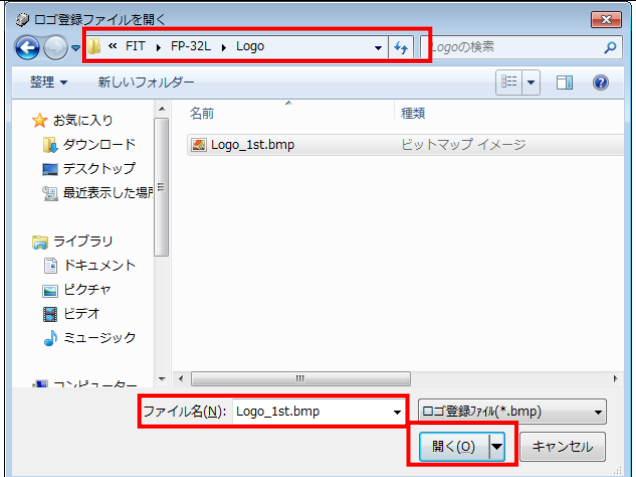
ここでは、[ロゴの設定] 画面の操作について説明します。

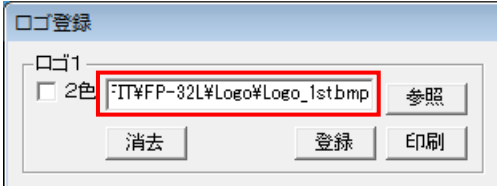
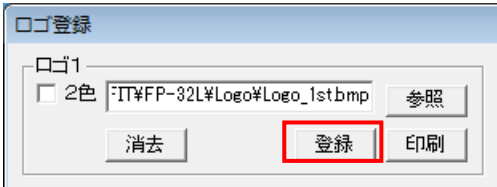
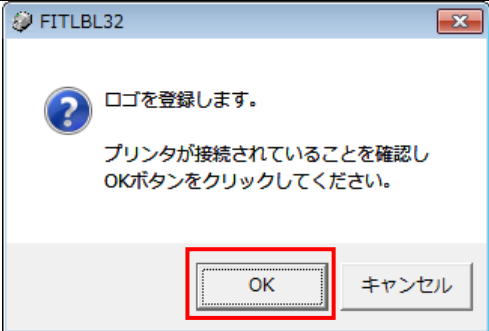
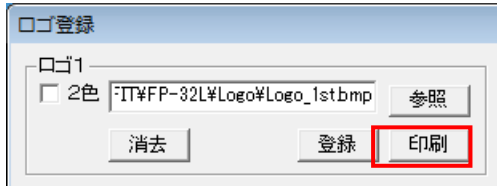
3.3.1 ロゴをプリンタに登録する

ロゴ印刷で使用するロゴファイルをプリンタのメモリ内に登録します。

登録したロゴは、プリンタの電源をオフにした後も記憶されます。

<操作方法>

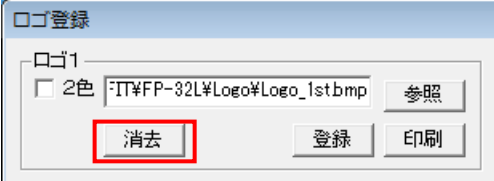
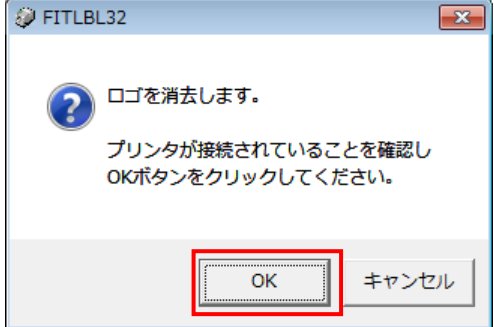
<p>1</p>		<p>[設定]-[ロゴを登録する]をクリックします。</p>
<p>2</p>		<p>ロゴ1～5の中で登録したい場所の[参照]をクリックします。</p>
<p>3</p>		<p>登録するロゴファイルを指定します。 [ファイルの場所]と[ファイル名]を指定し、[開く]をクリックします。</p> <p><ガイド> 使用できるファイルの種類は、Windows ビットマップファイル (BMP 形式) です。</p>

<p>3</p>		<p>指定したファイルが追加されます。</p>
<p><ガイド></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 推奨の最大サイズは、640 ピクセル（横）×400 ピクセル（縦）です。 ・ ロゴを2色で印刷する場合は、[2色]を指定します。 ・ 2色のロゴは、16色または256色として作成してください。 		
<p>4</p>		<p>[登録]をクリックします。</p>
<p>5</p>		<p>確認メッセージが表示されますので、画面の内容を確認し[OK]をクリックします。</p>
<p>7</p>		<p>登録されたロゴを印刷する場合は[印刷]をクリックしてください。</p>

3.3.2 プリンタに登録したロゴを削除する

プリンタに登録したロゴを削除します。

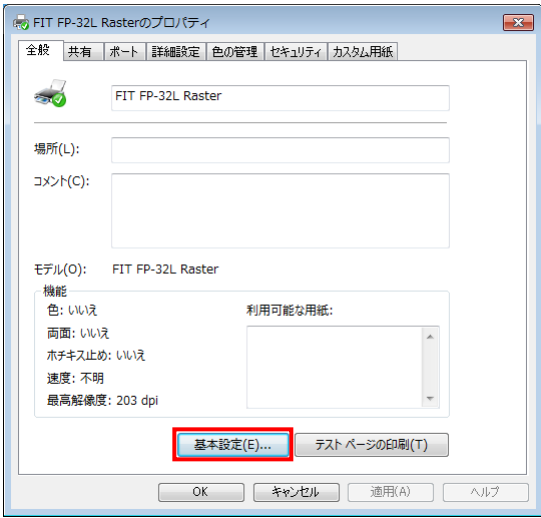
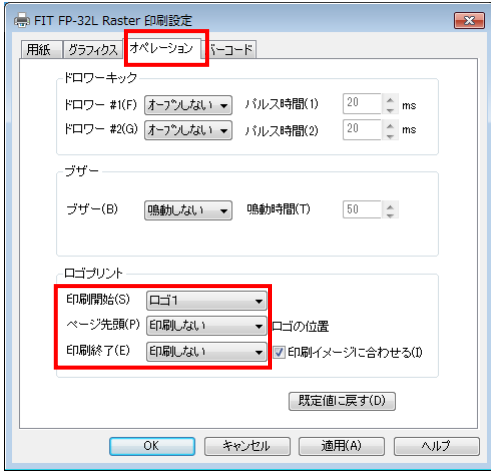
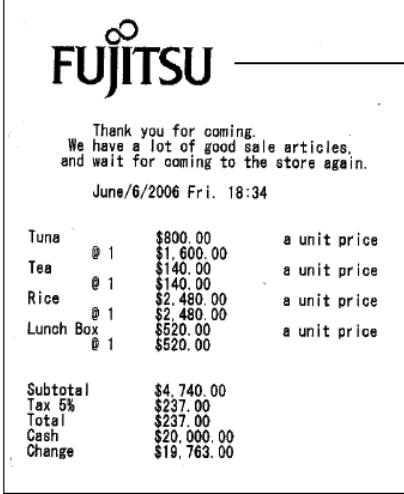
<操作方法>

1	 <p>The screenshot shows a dialog box titled 'ロゴ登録' (Logo Registration). It has a text field for 'ロゴ1' (Logo 1) containing the path ':IT\FP-32L\Logo\Logo_1st.bmp'. There are four buttons: '参照' (Reference), '登録' (Register), '印刷' (Print), and '消去' (Delete). The '消去' button is highlighted with a red rectangular box.</p>	[消去]をクリックします。
2	 <p>The screenshot shows a confirmation dialog box titled 'FITLBL32'. It contains a question mark icon and the text: 'ロゴを消去します。プリンタが接続されていることを確認しOKボタンをクリックしてください。' (Delete the logo. Please confirm that the printer is connected and click the OK button). At the bottom, there are two buttons: 'OK' and 'キャンセル' (Cancel). The 'OK' button is highlighted with a red rectangular box.</p>	確認メッセージが表示されますので、画面の内容を確認し[OK]をクリックします。

3.3.3 Windows ドライバを使用してロゴを印刷する

プリンタに登録したロゴは、Windows ドライバを使用して、印刷する位置（印刷の開始や終了、各ページの先頭）を指定し、ドキュメントと合成して印刷することができます。

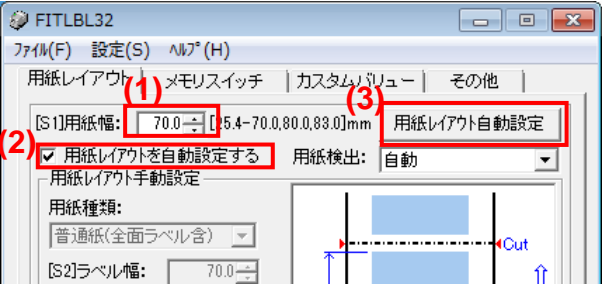
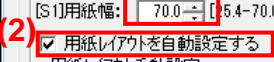
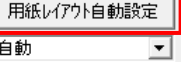
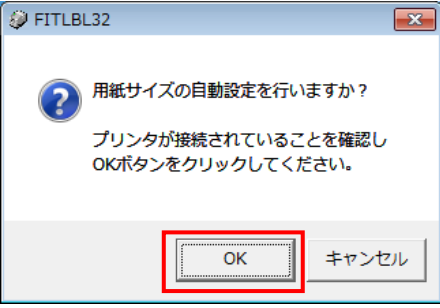
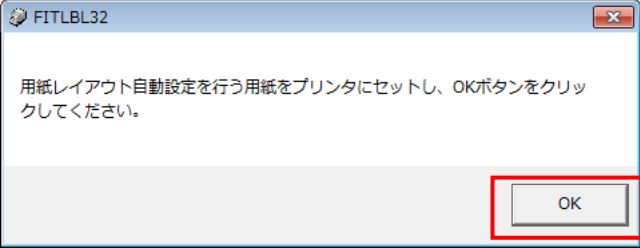
<操作方法>

1		<p>Windows プリンタドライバのプロパティを開き、[基本設定]をクリックします。</p>
2		<p>[オペレーション]タブを開き、ロゴの印刷位置（印刷開始、ページ先頭、印刷終了）に印刷するロゴを指定します。</p> <p><ガイド> プリンタドライバの操作に関する詳細は、「Windows ドライバユーザーズガイド」を参照ください。</p>
3	<p>アプリケーションから印刷を実行します。 以下に印刷結果の例を示します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;">  </div>	<p>ロゴ</p> <p>本文</p>

3.4 用紙レイアウト設定

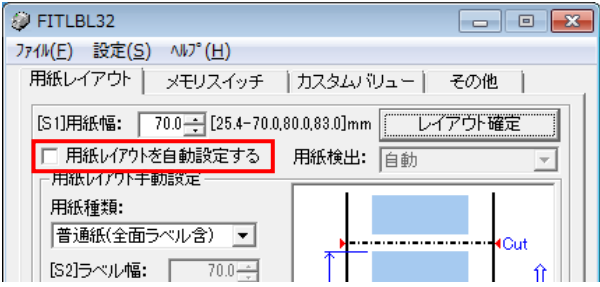
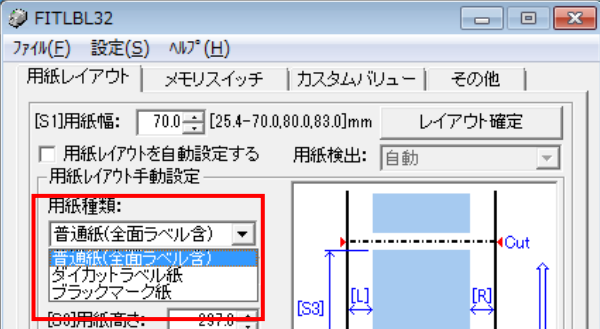
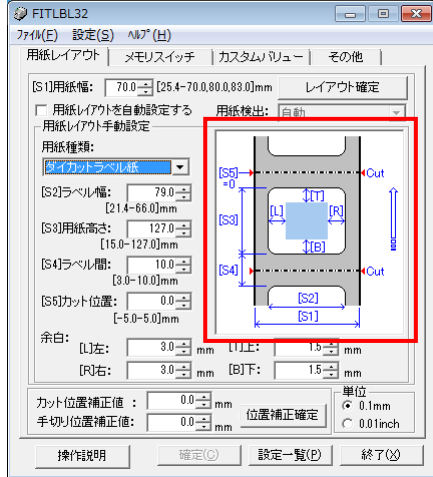
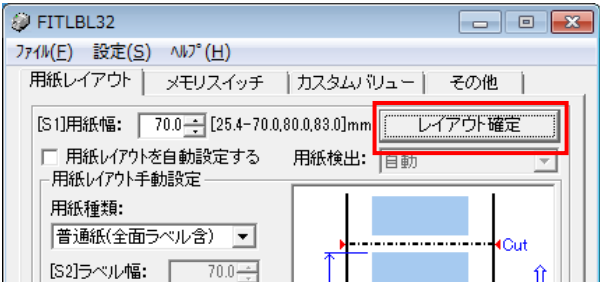
3.4.1 用紙レイアウトの設定を自動で行う

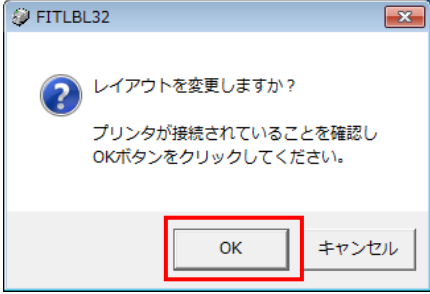
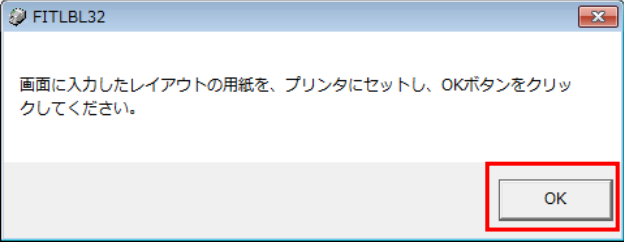
〈操作方法〉

1		<p>「[S1] 用紙幅」に用紙の幅を入力します。</p>
2		<p>「用紙レイアウトを自動設定する」にチェックをつけます。</p>
3		<p>「用紙レイアウト自動設定」ボタンを押します。</p>
4		<p>このまま続ける場合は[OK]を、中止する場合は[キャンセル]を押してください。</p>
5		<p>自動設定したい用紙への交換を促すメッセージが表示されますので、用紙を交換し[OK]ボタンを押します。</p> <p>プリンタで用紙レイアウト自動設定が行われます。センサで用紙のレイアウトを確認するため、用紙が数十センチほど排出されます。</p>

3.4.2 用紙レイアウトの設定を手動で行う

<操作方法>

<p>1</p>		<p>「用紙レイアウトを自動設定する」のチェックを外します。</p>
<p>2</p>		<p>レイアウト設定したい用紙を「用紙種類」から選択します。</p>
<p>3</p>	 <p>図は、ダイカットラベル紙の場合の画面です。</p>	<p>表示されるレイアウト図を参考に、用紙の寸法を測り、印刷する用紙に合わせて各項目を入力します。[S5] カット位置についてはそのままお使いください。</p>
<p>4</p>		<p>「レイアウト確定」ボタンを押します。</p>

5		<p>このまま続ける場合は[OK]を、中止する場合は[キャンセル]を押してください。</p>
		<p>用紙への交換を促すメッセージが表示されますので、用紙を交換し[OK]ボタンを押します。</p> <p>プリンタでイニシャル動作が行われ、設定した用紙種類が普通紙(全面ラベル含)以外の場合は、頭出し動作が行われます。</p>

※ 「用紙レイアウト自動設定」ボタンまたは「レイアウト確定」ボタンを押す前に、用紙を交換してしまい、用紙レイアウトエラーが発生した場合、次の手順で解除します。

- 操作その1

- 1) プリンタの FEED スイッチを 2 秒間押し続けます。
- 2) プリンタで用紙レイアウト自動設定が行われ、用紙レイアウトエラーが解除されます。

- 操作その2

3. 5. 1 章”用紙レイアウトの設定を自動で行う”を参照し、用紙レイアウトを自動設定してください。

※これらの操作を行い、用紙レイアウトエラーを解除した場合は、用紙レイアウト自動設定が行われるため、改めて用紙レイアウト設定を行う必要はありません。

但し、自動設定されたレイアウトに対し微調整が必要な場合は、手動設定を行って下さい。

3.4.3 カット位置補正/手切り位置補正方法

カット位置補正/手切り位置補正は、印刷位置をカット位置または手切り位置を基準に上下方向に微調整します。

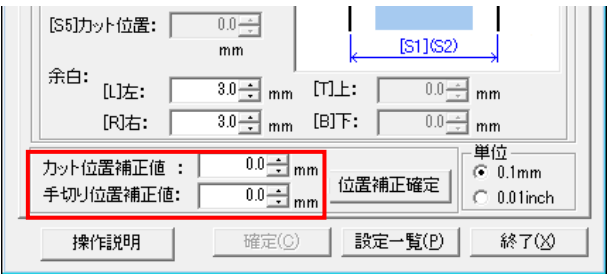

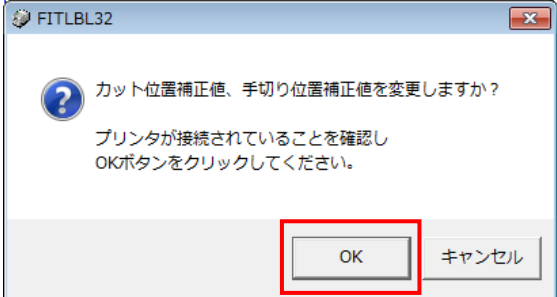
【カット位置補正】

カット位置、剥離位置、印刷位置が設定した値だけ上下方向に移動します。

【手切り位置補正】

手切りの位置が設定した値だけ上下方向に移動します。

〈操作方法〉

1		補正值を入力します。
2		[位置補正確定]ボタンを押します。
3		<p>このまま続ける場合は[OK]を、中止する場合は[キャンセル]を押してください。</p> <p>設定が終了すると、プリンタはイニシャル動作を実行します。</p>

※ 補正值の設定について

カット位置補正の場合：プラスの値を指定した時は、用紙の送り方向に対して順方向に各位置を補正します。（用紙送り量が増加します）

印刷位置、カット位置については、印刷イメージでみた場合、下側（180度回転指定時は上側）に補正されます。

マイナスの値を指定した時は、用紙の送り方向に対して逆方向に各位置を補正します。（用紙送り量が減少します）


印刷位置、カット位置については、印刷イメージでみた場合、上側（180度回転指定時は下側）に補正されます。

手切り位置補正の場合：プラスの値を指定した時は、用紙の送り方向に対して順方向に手切り位置を補正します。（用紙送り量が増加します）

マイナスの値を指定した時は、用紙の送り方向に対して逆方向に手切り位置を補正します。（用紙送り量が減少します）

4 改訂履歴

Revision	更新日
2.0.0.0	初版(2015.05.27)
2.0.1.0	2015.10.15


FUJITSU